

〈学校教育目標〉  
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成  
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校  
令和2年7月9日  
第31号

## 教育委員会学校訪問

7月7日、総社市教育委員会から4人の方が維新小学校を訪問されました。先に来られたのは、合澤指導主幹さんと中原指導主幹さん。第2校時目に全教室を回って、子どもたちの頑張っている学習ぶりを見ていただきました。お二人と入れ替わりで、今度は久山教育長さんと服部部長さんが来校され、3校時目の授業を参観されました。



4年生の理科の授業です。運動場の土や砂を観察している授業を合澤指導主幹さんが参観してくださっています。



理科室にて、理科の実験を行っている6年生の学習を熱心に参観される久山教育長さんと服部部長さん。

先生1人と児童1人で行われた2年生道徳の授業です。姿勢よく頑張っている児童を見てくださっている中原指導主幹さん。



## 昔の道具調べ（3年生社会科）

3年生の社会科の学習に「昔の道具調べ」があります。「10年ひと昔」と言いますが、3年生の児童にとっての昔の道具とは、児童の祖父母が子どものころ使っていた道具か、それ以前の道具で、およそ30年ぐらい前から、それ以前の道具が対象となります。

どんな道具を使っていたのか（現在も同じものが使われているのか）を調べて、その当時の生活の様子を探ってみることが主な学習です。また、当時の人々がどんな願

いをもって生活していたのか、その道具と現在使われている同じ道具を比べてみることで、道具にどんな変化があり、生活がどう変わって来たのかなどを考える学習でもあります。

3年生の教室に行くと、ロッカーの上に児童がおうちから持ってきた昔の道具が並んでいました。校長の私も、見たり使ったりしたものばかりで、懐かしさを感じました。「社会科通信」を読ませていただきましたが、どの児童も興味をもって、意欲的に昔の道具を探して集めたことが分かりました。おうちから重いのにダイヤル式電話（黒電話）を持ってきた児童がいることも分かりました。3年生は昔の道具でとても盛り上がっていることが伝わってきました。

目的にあったものを主体的に探して調べるという姿勢は、まさに学習の真髄だと思います。児童の興味と意欲を喚起し、問題意識を醸成させた先生の指導も素晴らしいと感じました。昔の道具を提供してくださった3年生のおうちの皆さん、ご協力本当にありがとうございました。



